

量子科学技術研究開発機構と 包括的連携協力に関する協定書を締結



平野量研機構理事長(右)と西尾総長(左)

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構(理事長:平野俊夫 以下、量研機構)と国立大学法人大阪大学(総長:西尾章治郎)は、平成28年10月13日付で「国立大学法人大阪大学と国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構との包括的連携協力に関する協定書」を締結しました。

本協定の締結に基づき、両機関が持つ研究開発力や最先端研究設備などの研究環境、優れた人材を活かして、新たな連携・協力の枠組みを構築することにより、様々な分野における科学技術・学術の振興やイノベーション創出に大きく貢献することを目指します。

平成28年度秋季卒業式・ 学位記授与式を挙行(9月23日)



平成28年度 秋季入学式を挙行 (10月4日)



「大阪大学の集い」 岡山で初開催(8月20日)

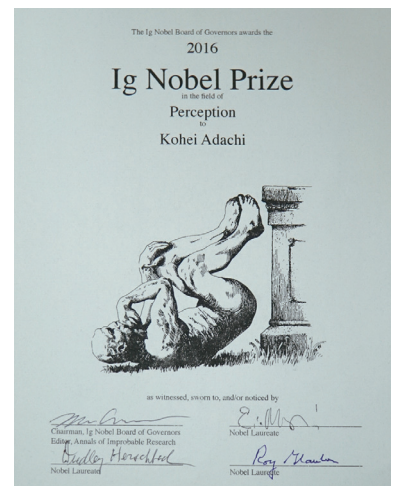
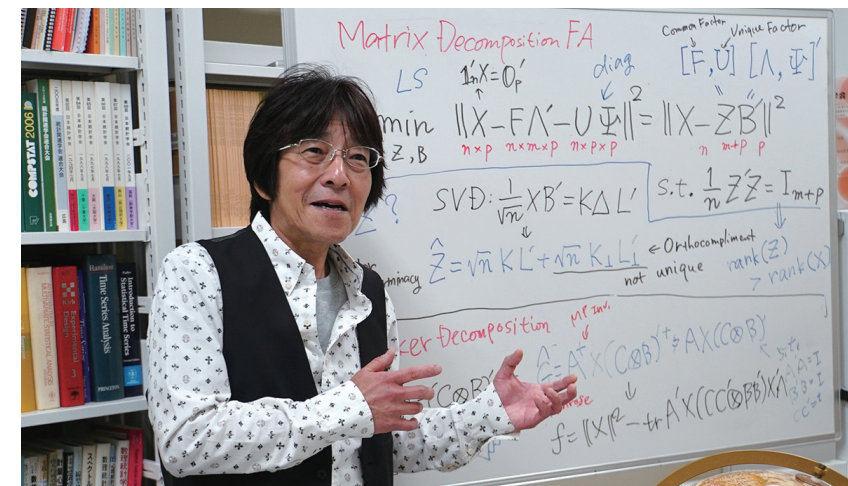


大阪大学北米同窓会 10周年記念イベント開催(9月10日)



足立浩平教授(人間科学研究科)がイグノーベル賞受賞!

9月23日(金)、人々を笑わせ、そして考えさせる研究を称える賞であるイグノーベル賞の今年の受賞者がハーバード大学で発表され、足立浩平教授(人間科学研究科)が、「光学的・身体的変換視野の効果(股のぞき効果)」に関する研究で、立命館大学文学部の東山篤規教授とともに「知覚賞」を受賞されました。そこで今回は、足立教授にインタビューを行いました!



この度は受賞おめでとうございます。

今回受賞された研究内容についてご説明いただけますか?

今回の受賞は、Vision Researchという国際学術誌に2006年に論文発表された、「股のぞき」によって視野と上体を逆さまにすると、視野が平面的に見え、特に遠くの物が小さく接近して見えるという現象解明の研究が対象となりました。立命館大学の東山教授が行った実験によって、これは網膜像の上下だけではなく、上体の上下が逆転することによって視覚世界が変化することによって生じることがわかりました。

この研究に、私は統計分析に協力する形で携わりました。複数の原因・現象の間には種々の因果関係が考えられますが、それらの中でも、データに合致した因果関係を見出す「パス解析」という統計手法を使用し、実験に基づく結論を裏付けたと言えます。

足立教授ご自身の研究についてお伺いします

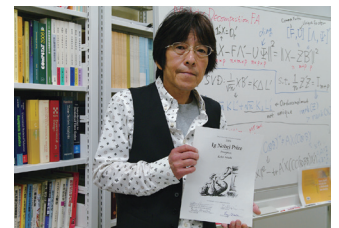
統計学の中でも、因子分析や主成分分析などの多変量解析を専門としています。人間科学研究科では、「行動統計科学」の研究分野に所属し、心理や行動に関するデータを分析するための新たな統計手法を開発しています。そうしたデータの背後にある要因を見出すロジックを、数式に落とし込む仕事や、数式をプログラムにして計算機で走らせると「そのとおりになる」ところに面白さを感じています。担当講義の一つに、英語

で多変量解析を教える授業がありますが、その英文テキストが今月Springer社より出版され、ほっとしている所です。なお、統計学に関わる先生は様々な研究科におられ、そうした先生方とともに、本学の数理・データ科学教育研究センターも兼任しております。

最後に今回の受賞についてのご感想を一言

今回受賞した研究は、100年以上前に、ドイツの物理学・生理学者のヘルムホルツが説明を試みた現象を、実験等により解明したものです。100年以上も前からの疑問の解明について、一見面白おかしくも評価されたことは光栄に思います。このような研究を主導した東山先生の偉大さを改めて感じるとともに、スポーツ選手と同様に、国際的な場でプレーする(つまり論文を書く)ことで、いろいろな評価を得ることができるということを再認識できたことを大変うれしく感じています。

ありがとうございました。



大阪大学の医学教育・研究・診療を支援する

一般財団法人 恵済団

大阪大学医学部附属病院内の売店(ローソン)、
薬店、食堂、サブウェイを運営しています。

阪 印

信頼と実績

昭和44年創業以来、「お客様の気持ちを第一に」を社是として歩んでまいりました。
培ってきた信頼と実績が私たちの誇りです。

〒553-0004 大阪市福島区玉川3-6-4
TEL:06-6443-0936 FAX:06-6443-1684 E-mail:bandopv@skyblue.ocn.ne.jp

阪東印刷紙器工業所